

講演会「メガ風力発電事業・メガソーラー発電事業とどう闘うか」



日 時：2022年1月22日（土）午後2時～午後4時

場 所：当別町 ふれあい倉庫カルチャーホール 当別町錦町294-4（JR当別駅南口前）

講 師：市川 守弘氏（弁護士）

*泊原発訴訟、再エネ訴訟、アイヌ先住民族の権利・遺骨問題などに携わっています。

*資料代：300円 *ご来場の際は、マスク着用をお願いします。

これまでの経過～

令和2年8月4日付で経済産業省が「（仮称）石狩郡当別町西当別風力発電事業」の「**計画段階環境配慮書**」を受理したことから、この事業が始まりました。事業を実施するために、「**環境配慮書**」に対する縦覧のお知らせ（町広報、道新掲載）と、それに対する意見を募集していましたが、町民は誰一人この事業計画を知らず、町民の意見は一件もありませんでした。令和3年2月2日に「**環境影響評価方法書**」が受理されて、4月9日、11日に西コミセンで説明会が開催されることから、初めてこの事業の内容が明らかになりました。

事業説明会では、風力発電事業の規模4,200kw/基～12基、弁華別～上当別の山の稜線に位置が示されましたが、「**配慮書**でどのような意見があったのかを説明してもらいたい」の質問に回答できず説明会が紛糾したのです。そのため、事業者は最初の「**配慮書**」に戻ることを約束し、10月24日2回目の説明会を開催しました。

しかし、事業者は前回の約束を反故にし、この説明会は「**方法書**」であるとして、説明会を終了しようとしたため、町内会長を主体とした説明会の開催を約束させて計4回の説明会が開催されました。この間、当別町議会では請願書、陳情書などが全員一致で採択され、来年1月下旬に当別町の意見を北海道知事に回答する予定です。

☆当別の大切な自然と景観を後世に残したいと思っている皆様、是非ご参加ください。

意見交換をしましょう。

主 催：風力発電を考える当別町民の会

連絡先：北栄町 手代木 隆二 080-1975-4516 スウェーデンヒルズ 森田 利幸 090-2889-8491

風力発電に反対

せざるを得ない

6つの理由

環境にいいんじゃないの？

ホッポー

実は問題だらけで世界的にも住民の反対運動や訴訟が増えているんじゃないよ

当別町の財産である豊かな自然を守り、子供たちに負の遺産を残さないためぜひとも反対署名にご協力をお願いしますのじゃ!!



参考資料

- ・風力発電を考える当別町民の会さま
- ・「風力発電ができた町の話」武田恵世さま
- ・石狩湾東部の風力発電を考える石狩市民の会さま
- ・四方十ふるさとの自然を守る会さま
- ・小樽市の巨大風力発電から自然と生活を守る会さま
- ・日本風力発電協会さま
- ・お寺が守る自然と生命：風力発電問題をめぐって 山地弘純さま
- ・長岡新聞さま
- ・イラスト提供：いらすとやさま

※このチラシはWEBで印刷できます。風力発電反対に使用する方にご自由にご使用ください。

ただしイラストはいらすとや様の著作物のため政治利用は不可です。



チラシ作成：風力発電に反対せざるを得ないチラシ作成の会 <https://wind000.hateblo.jp/>

① 自然を守るため



- ・日本は森林大国といわれるが実は『豊かな森』はあまり残っていない。
- ・やみくもに植えた人工林では天然林のような炭素減少効果は見込まれない。
- ・野生動物の生存が脅かされ、2年間で1万2000頭以上の熊が人里に現れ駆除された。
- ・福島県の風車建設地では、河川汚濁によりイワナ・ヤマメが激減。

④ 鳥(動物)が死ぬ



- ・国内希少野生動植物種に指定されているオジロワシ、クマタカ、チュウヒ等の希少猛禽類が、風車に当たり死ぬ可能性。(※北海道の事例)
- ・乳牛が低周波音によるストレスのため、乳が出ない・奇形の仔牛が生まれる。
- ・鶏は産卵しない、黄身の卵を産む。

② CO2を減らせない



- ・電力は安定供給が必須。発電と消費を同量にしておかないと大停電を起こす。
- ・不安定な風力に備えて、火力発電所は蒸気を捨てながら待機している。
- ・アメリカの例では火力だけの日より、風力を併用した日に排気ガスが激増。急停止や急急進する車の燃費と同じ。

⑤ 景観を損なう



after (計画中)

※イメージ図(フォトモンタージュ)
風力発電の真実を知る会さま作成

③ 健康被害がでている



- ・全国各地、世界各国で風車から発生する低周波音による睡眠障害、めまい、吐き気、頭痛などの健康被害が起きている。
- ・心筋梗塞で5名の方が死亡(静岡県東伊豆町)
- ・現在の日本では被害が証明できず補償は無い。最悪の場合、引越すしか解決策がなく持ち家の価値はほぼ0になる。

⑥ お金のリスク



- ・(※兵庫県の事例)業者との地上権設定契約の中に「倒産手続申立権等の放棄」があり業者が倒産した場合、残った風車の撤去を地方自治体が請け負うリスク大。
- ・CO2を減らせず環境破壊をする電力を国民が買い取りつづける(20年間)
- ※再エネ賦課金：平均的な家庭で年間1万4400円、10年で14万4000円の負担